

平成27年度 自己評価結果公表シート

学校法人清明学園

丘珠幼稚園

1. 本園の教育目標～丘珠の子ども像～

知	*よく考えて行動する子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・話を上手に聞き、何でも話せる子ども ・きちんと後始末のできる子ども
徳	*思いやりのあるやさしい子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちのよさに気づき、仲良くできる子ども ・命を大切に作る子ども
体	<ul style="list-style-type: none"> *元気でしょうぶな子ども *意欲をもってがんばる子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく挨拶のできる子ども ・元気いっぱい遊べる子ども ・我慢強い子ども ・歌をうたったり絵を描いたりすることが大好きな子ども

2. 今年度の重点目標

- *子ども1人ひとりを尊重し、遊びを中軸に据えた保育を展開することで、子ども自身が創造した生活ができ、独立自尊・共感他尊から自己肯定感の育みを促していく。
- *【じぶんだいすき・ともだちだいすき！はじめよう！おかだまものがたり】をスローガンとして、友達とのかかわりから、互いに学び合い1人ひとりを大切にしていくことで、その育ちが次へと繋がるような環境作りを行い、子どもの育ちを保障する。
- *幼児相互のかかわりの質向上を図り、時間・空間・仲間の3つの間の場が創造できるようにする。

3. 評価項目の達成状況と取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育の在り方・園児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎工事により園庭での活動ができず、近隣の公園を利用した保育を進めたが、見通しを持った保育とならなかった点も多かったため、次年度への課題としたい。
園庭改造を含めた、保育方針の保護者理解・保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりや園長だよりなどを通じて、遊ぶことの大切さや挑戦的に遊び込めるための園庭改造を伝えてきたが、具体的な所の理解をまだ得られていない。だが、熱意ある保護者に支えられ、全体的には期待感を持ってもらうことができた。教職員間ではまだ温度差があるため、今後しっかりと研修を進めていく必要がある。 ・絵本サークルやお助けパパ・ママなど、協力的な保護者が多い。より信頼関係を深めるためにも、積極的なコミュニケーションを心掛けたことは良い。
保育及び、教職員の質向上のための園内研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に遊ぶとはどういう事かという内容の元、コーナー活動での具体的な様子を話し合い、時には理事長からの話を直接伺って、改善点を見つけて保育に反映するなど学ぶ機会を多く取り入れた。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・子どもが遊びを通して主体的に生活するため、人的環境である保育者自身が【見守る】ことの真意をしっかりと理解し、保護者にも、より質の高い保育を発信したり共通理解したりできるよう努めたが、十分とは言えない。園からの発信をもっと強くできると良かった。ただ、子どもたちが園生活に満足感を感じている姿が見られ、保護者からもその点については、評価をいただいていると感じる。今後は、より具体的な内容や子どもが育っている姿を共感できるように努めたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な幼児への対応のため、人的環境と個別の支援計画をしっかりと整え、研修会などにも積極的に参加する。保護者には、より丁寧な対応を心がける。
保育の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが育つための環境作りと研修や学びの機会を多く取り入れ、共通認識を図る。

6. 関連事業

- 一時預かり事業の実施（早朝保育を含める）
 - ・保育日数～ 240日
 - ・登録者数～221人
 - ・1日平均～35.5人
 - ・延長保育利用者数～8,524人
- 地域開放、子育て支援事業を実施
 - ・こぐまクラブ（1～5歳児）11回
- 未就園児親子教室を実施
 - ・【いちご組】2歳児 各年26回
- 幼小の連携を推進
 - ・伏古北小学校、栄南小学校、丘珠小学校、丘珠中学校